

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	23046
事業名	児童会館整備費					
評価担当課	所 属	子)子ども育成 子ども企画課			電話番号	011-211-2989
施策名	多様なニーズに応じた保育サービスや、児童が放課後に過ごす安全					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	児童会館の設置場所の偏りや、施設の老朽化の進行が挙げられており、地域との連携強化、多様化した子育てニーズや最適な施設規模・配置が求められている。 これらに対応するため、「児童会館の在り方(指針)」及び「市有建築物の配置基本方針」に沿って、小学校改築等の時期に併せて小学校等との複合施設として再整備し、学校の改築等の時期に合わない場合については、現地での建替えを進めてきた。 また、老朽化しているが、学校改築等とスケジュールが合わず、現地建替えも進んでいない児童会館があり、その対応についても検討する必要がある。
	事業内容(何を実施し)	■児童会館等を小学校やまちづくりセンター等と複合化した児童会館に再整備 ①基本設計2施設((仮称)厚別南・青葉地区義務教育学校、(仮称)真駒内地区義務教育学校) ②実施設計5施設((仮称)厚別南・青葉地区義務教育学校、(仮称)真駒内地区義務教育学校、義務教育学校定山溪学園、琴似小、明園小) ③改築工事5施設(元町北小、光陽小、山の手小、義務教育学校定山溪学園、東山小) ④解体工事4施設(二十四軒児童会館、苗穂児童会館、光陽児童会館(実施設計)、山の手児童会館(実施設計)) ■旧耐震基準かつ小学校の建替え等と時期が合わない児童会館の再整備 ⑤手稲前田児童会館(改築工事) ■既存児童会館と地域の連携機能を維持するためのコーディネーター配置 ⑥1施設(中央児童会館)
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	施設の再整備による利用者の安全確保及び利便性向上
	他都市の状況	新・放課後子ども総合プランで、国として①全小学校区で放課後児童クラブ及び放課後子供教室を一体的又は連携して実施、と②新設放課後児童クラブの約80%の小学校内実施を目指す、と掲げられており、今後、小学校内に放課後の居場所整備を進める傾向になると考えられる。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ■ 対象外

令和4年度決算額	563,012 千円	うち特定財源	305,423 千円	正規職員業務量	1.55 人工
令和5年度予算額	875,000 千円	うち特定財源	695,496 千円	正規職員業務量	1.55 人工
令和5年度決算額	782,011 千円	うち特定財源	367,388 千円	正規職員業務量	1.55 人工
令和6年度予算額	235,000 千円	うち特定財源	123,575 千円	正規職員業務量	1.7 人工

指標	アウトプット活動指標1	新型児童会館整備館数				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
		15	18	19	20	21	23	
	↓							
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	施設の改築事業であるため、成果指標の設定困難						
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	↓							
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定	
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方							

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	引き続き、小学校の改築等に合わせて児童会館整備を実施する。